取組事例　創業時の補助による創業創出や首都圏からの移住促進

（小樽市）

小樽市では、市内で新たに創業する方に対し、創業などに要する経費の一部を補助することによる新規創業の創出や、首都圏をターゲットにした移住促進活動やホームページによる情報発信を実施するなどの施策を通じ、小樽市への新しいひとの流れをつくる地域づくりを目指している。

関連数値目標・KPI

	基準値（H30）	実績（R5）	目標値（R6）	進捗率（%）
新規創業者数	42人	41人	43人	95.3%
	基準値（H21～H30平均）	実績（R5）	目標値（R6）	進捗率（%）
転出超過数	825人	274人	575人	100.0%

取組の推進体制

地域における市民・企業・団体の参加・協働により、設定した指標の推移などから施策の効果や施策を構成する事業の妥当性を点検し、事業の見直しなどの改善を行う「PDCA サイクル」を確立し、より効果的・効率的な取組を推進。

移住相談窓口を利用した移住者数（人）

移住相談窓口を利用した移住者数は毎年増加傾向にある。

取組事例　創業支援や移住促進

創業支援事業

○主な取組

・市内で新たに創業する方に対し、その創業などに要する経費の一部を補助することにより、新規創業の創出や市内業者との取引拡大等を図り、本市経済振興に資すること、さらに市外在住者の転入を増やし、居住者の転出を抑制する。

○主な成果

・令和５年度は16件の補助金利用があった。

移住促進事業

○主な取組

・小樽市への移住を促進するためのワンストップ窓口を設置した。

・首都圏をターゲットにした移住促進活動やホームページによる情報発信などを実施する事業として、令和５年度は、休暇が取りにくい方も参加しやすくするために、令和４年度に引き続き移住体験ツアーをオンライン開催し、先輩移住者へのインタビューや、小樽市での仕事環境・子育て環境について紹介した。

○主な成果

・移住検討者の不安を解消することができた。

・令和５年度は53人が移住相談窓口を利用し、移住した。